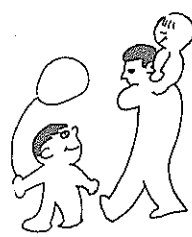




市民のひろは



検診の母触れている春の幹
試験終った 綿雲に描く旅の地図
クレーンの腕冬雲を抱き 倒産
ラーメン屋笛吹きめける一集落
冬鳥の声梵鐘の果に飛つ
石段がたたためている女正月
風花や窓の向こうの山黒し
光濃し北上川の冬景色
団結の貼り紙凍り閉工場

南国俳壇

- 浜田 妙 (大藤俳句教室)
- 山崎光子 ()
- 寺田昭三 ()
- 楠瀬統子 (花柳俳句会)
- 岡田昌子 ()
- 岡田寿子 ()
- 門田けんぶ (茅花の会)
- 山崎 賢 ()
- 浜田民由 ()

南国歌壇

シクラメンの鉢求めて窓に居る
去年のやうにて去年よりかなし
旅をゆくあてもなければど我が心
春めきし日の旅を想ひき
逝く者も生き残る者もそれぞれに
思い出あらん冬の夜の月
植野 中司愛子

逝きしより五たひの春を咲き匂う
主愛でいし隣家の紅梅
市というもこは家は疎らにて
土地のなりの賦役に出づ
さきがける春を匂へる庭の梅
色くれないに華やきみする
前浜 沢田千恵子



歴史の里で書院と鐘桜堂が完成

聖武天皇の勅命により、僧行基が天平十一年(七三九)に開山し空海が興した、真言宗四国霊場第二十九番の札所園分寺で、二月八日書院と鐘桜堂が完成しました。これは、旧書院が今から三百二十年あまり前の慶安年間に建築したもので、腐朽もはなはだしくなつたことから、昨年五月に改築に着手したものです。また、鐘桜堂については、たまたま梵鐘の寄進があり、鐘桜堂建立の必要にせまられ、書院と並行して起工したのもので、

約一千人の参拝者に紅白のもち投げを行い、落慶を祝いました。新しくできた書院については、今後は文化交流の場として、また青少年錬成の道場として利用され親しまれることになりました。鐘桜堂については、これができたことにより、大みそかにはまほろばの園分の里にも除夜の鐘の音が鳴り響くことになり、歴史の里に新たな情緒をもたらすことになりました。



運転免許証更新に注意
最近運転免許証の更新期限を過ぎて申請される人が多くなつてい
ます。
免許証の期限を、お確かめにな
つて、おくれないうちに更新手続
をしてください。
交通安全協会南国支部
南国 警察署

「わらび座」南国公演



3月8日水 PM6:30
南国市市民体育館
400 1,600 2,400

「明日へ、大きくはばたこう
ふみしめる大地、わきおる歌声」
民族歌舞団「わらび座」の南国
市公演が、三月八日(水)午後六
時三十分から市民体育館で開かれ
ます。

前号でお知らせしました「日影
による中高層の建築物の高さの制
限」についての説明会を次のよう
に行います。なお、当日は「住宅
金融公庫建設基準面改正」の説明
会も同時に行われますので、関係
住民(建築関係の方も)のみなき
ん、多数参加ください。
■とき 三月八日 午後一時から
三時まで。
■ところ 市役所大会議室

日影規制実施に 伴う説明会

ご家族で話し合つて答えてくだ
さい。答えは今月号の広報に出
ています。
■もんだい 中内知事が市役所
を訪ずれ、周辺整備事業で市に
は○○○はかけない、と口答
と文書で約束しました。
■しめきり 三月十五日(水)
■おくり先 〒783 南国市
大塚甲2301 南国市役所広
報委員会 親子クイズ係
□答えのハガキには必ずお歳・
職業・住所を書いてください。
■しょうひん 特賞(千円) 1
三人、残念賞(記念品) 10人
第七十七回正確発表
■こたえ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
■特賞 千円 1三人
大川節子さん(岩崎)
広光光子さん(浜改田)
竹村京子さん(稲生)



オンバが岩

岡豊の通好寺の山上に、周囲
が五、六メートルある大きな岩があ
る。
園道三十二号線からもはつき
り見ることが出来る。その形が
エボシを立てたように見えるの
で、エボシ岩と呼ばれていたが、
オンバが岩といわれるようにな
つたには、面白い話が伝わっ
ている。

々疲れたので、薪の束に腰をおろ
して休んでいた。うとうとしてい
たが、ふと気がつくとエボシ岩の
中から、ピーン、ピーンとやさし
い音が聞えてくる。不思議に思い
岩の中をのぞくと、どうしたこと
か、白髪の老婆が一生涯懸命に木綿
を紡いでいる。驚いた老人は、こ
ろぶように山をおり逃げ帰つたの
である。

岩とつて、恐れられるようにな
り、真昼でもそばを通る者はなく
なつた。元来山姥は、大き林に開
まれた滝や断崖のあるところに住
んでおりよく木綿を紡ぐが、空を
飛ぶ術も心得ていたといわれる。
土佐山村東川の白滝に山姥を祀
る小社がある。昔この山の麓に中
野某という山仕事をする男の家が
あったが、山姥がついたので色々
と不思議な事件がおこつた。中野
の家が山仕事をしながら、今
日は何々が欲しいと思つて帰つて
みると思ったとおりの品物が家に
どつしり置かれていた。今日は何
が食べたかと考えながら帰つてみ
るとその食物が家いっぱい積まれ
ている。思いのままに物が得られ
るので家運は栄える一方であつた。

岡豊にはオンバが岩の外にも
滝本の昆沙門の滝の入り口の火
岩にも山姥が住んでおり参詣人
も多かったという。白木谷の奥
の山姥さまは、今もなお参拝者
で繁昌している。つい先日があ
る信者から立派な鳥居の寄進が
あつた。

定林寺に刈谷某という老人が
住んでいて、毎日山で薪をとる
のが仕事であつた。この岩のそ
ばで薪をとつて働いていた。少

また小野の郷土森本某が狩りか
らの帰りみちこの岩のそばを通り
かかつて岩の中で、ピーンピーン
と木綿を紡ぐ山姥の姿を見たとい
う。それ以後この岩を、オンバが

ご家族で話し合つて答えてくだ
さい。答えは今月号の広報に出
ています。
■もんだい 中内知事が市役所
を訪ずれ、周辺整備事業で市に
は○○○はかけない、と口答
と文書で約束しました。
■しめきり 三月十五日(水)
■おくり先 〒783 南国市
大塚甲2301 南国市役所広
報委員会 親子クイズ係
□答えのハガキには必ずお歳・
職業・住所を書いてください。
■しょうひん 特賞(千円) 1
三人、残念賞(記念品) 10人
第七十七回正確発表
■こたえ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
■特賞 千円 1三人
大川節子さん(岩崎)
広光光子さん(浜改田)
竹村京子さん(稲生)

■残念賞・記念品 10人
土居止子(十市)久米隆利(久
礼田) 沢本崇(里改田) 有吉寛展
(大地) 西本智砂(植田) 土居
サカエ(十市)徳橋淳子(大地)
水田勝久(久礼田)松岡昌浩(稲
生) 藤田梅於(領石)

